

# 山都町の未来図 ~地域の未来へ繋ごう!第4回子ども議会~

第4回山都町子ども議会が、1月19日に行われました。議長を務めた矢部中学校2年の大林千陽さんをはじめ町内3中学校から選出された生徒12名が議員として参加しました。

生徒たちは山都町がより良い町になるように、事前に山都町の現状を調べたり、自身の学校生活での体験や地域の事例等を参考にして、町が活性化するような取り組み等について、梅田町長ら山都町執行部へ質問や提案を行いました。議場という独特の雰囲気の中、生徒たちは緊張しながらも、中学生の視点から山都町の将来に向けた鋭い質問や建設的な提案を堂々と発言していました。

# 子ども議会について

子ども議会は、1989年に国連で採択され、日本でも 1994年に 批准した「児童の権利に関する条約」の第 12条にある「自由に自 己の意見を表明する権利」を実行する機会を提供するため全国で 開催されるようになりました。中学生の町政への関心と社会への 参画意識を高めることを一つの目的とし、意見を社会に発信し聴 いてもらえるということを実感してもらう機会となっています。

山都町子ども議会は、郷土に誇りを持ち、町の未来を担う人づくりを目的とした『山都塾』の一環として、平成29年度に第1回目を開催しました。

平成30年度第2回子ども議会で提案された「光害防止条例の復活」については、令和2年3月の『山都町星空環境保全条例』の制定につながり、生徒たちの美しい星空を大切にして未来につなぎたいという想いが実現しました。





# 3. 廃校を活用したイベント開催や合宿施設の整備について

# 矢部中学校2年



問 山都町には閉校となった学校が多くあり、校舎を使ってできることは多 村山 遥香 議員 いと思います。特にキャンプや合宿の誘致に力を入れてはどうでしょうか。 学校をキャンプ場とすることで、たくさんの人に山都町に来てもらい、美し い自然の中で楽しんでもらえるのではないでしょうか。さらに、合宿の誘致 では、体育館、家庭科室、教室などがあり、学校はとても適した環境にある と思います。また、町内の子どもにも交流してもらうために、予約が入って いない休日は校舎を解放し、遊び場として利用できるといいと思います。こ れらの実行には、学校敷地内の整備や清掃、いろいろな準備が必要です。地 域で協力者を募ったり、矢部中で行っているボランティア登録制度を利用し たりすれば、町民で協力しあって活動を行うことができると思います。

# 答 企画政策課長

山都町では合併後、現在まで小学校の統廃合により14校が閉校しており、地元自治振興区の拠点等 で利用されている学校もありますが、十分に利活用できていないのが現状です。合宿の誘致については 山都町の夏の冷涼な気候は合宿環境には最適で、山都町総合計画においても重点戦略として位置づけて おり、積極的に取り組んで参ります。山都町を訪れる人が増えれば受け入れ態勢の整備も必要となり、 廃校の利活用も対策の一つであると考えます。キャンプ等につきましては、町には自然環境に恵まれた 6か所のキャンプ場があり、町内外の多くの人に利用していただけるようさらにPRに力を入れていき たいと考えます。これらの取組は、地域やボランティアの方々、観光協会や民間団体など各方面との連 携が必要となりますので、ご提案をいただきながら地域の活性化に繋がるよう、取り組んで参ります。

# 4. 山都町グランドデザインを参考にした道の駅周辺と新しい総合運動公園をつなぐ環境整備について

# 矢部中学校2年



問 現在整備が進められています総合運動公園には、どのような施設がいつ **眞原 礼** 議員 の完成予定で計画されているのでしょうか。私が他町の施設で特に感じた事 は、人工芝グラウンドの有用性です。雨の後のコンディション回復だけでな く、雨中の試合でも土のグラウンドに比べるとはるかに安全にプレイできま す。また、山都町民が気軽にバスケットボールを楽しむために、屋外にバス ケットボールコートが必要だと感じます。山都町民が気軽にスポーツを楽し む事ができ、これまで以上にスポーツイベントを開催して多くの人を呼び込 み、産業の活性化にもつなげる事ができる施設になって欲しいと願っていま す。矢部インターチェンジ開通も間近にせまった今、これらもぜひ計画に加 えて頂き、多くの人が利用する施設になる事を期待します。

# 答 生涯学習課長

山都町グランドデザインにより矢部 IC (仮称)の出口付近に道の駅の整備と通潤橋周辺の整備、町営 中央グラウンドを中心とした場所に総合体育館とグラウンドゴルフ等が楽しめる芝生広場等の整備を計画 しています。完成予定の時期は、国から受ける補助金・交付金により事業の進み具合が変わってきますが、 現在のところ令和7年を目指しているところです。人工芝のグラウンド整備については、有用性を認識し ているところでありますが、全体事業費や今後の維持管理費等勘案しながら、設置に向けて検討して参り ます。屋外のバスケットコートについては、敷地の範囲も限られており、スペース的には厳しいものと思 われます。実際のニーズがどれだけあるのかも把握しながら、設置について検討して参ります。スポーツ イベントについて、町や民間団体が主催するイベントがこれまで実施されていますが、新たに整備される 施設では、より多くの来場者が訪れると考えられますので、町の経済発展につなげて行きたいと存じます。

# 1. 楽しく健康づくりができる環境づくりとアスレチック広場の建設について

問<br />
楽しく健康づくりができる環境づくりとアスレチック広場の建設につ<br />
矢部中学校1年 いて、提案します。運動をすることで免疫力があがり、病気にかかりにく くなることで町の医療費も少なくなるのではないでしょうか。また、小さ なお子様がいる家族がアスレチック広場を訪れ、観光客が増えるのではな いでしょうか。山都町に造ることで話題になり、遊びに来たあとご飯を食 べたり、お土産を買ったりと観光客が増え、観光業と商業施設を活性化さ せることも可能となり、高速道路も開通することでその可能性がさらに広 がると考えられます。また、アスレチック広場の中に、小さな通潤橋を作り、 水分補給をする水道として、作ってみると山都町ならではのPRができる のではないでしょうか。

山本 麻奈 議員



# 答 生涯学習課長

現在、令和元年度に策定した「山都町グランドデザイン」を基に中央グラウンド周辺整備事業として、 公園整備を進めています。メインとなる総合体育館をはじめ、グラウンドゴルフ等が楽しめる芝生広場 や多目的広場等のスポーツ広場づくりを進めます。健康づくりと免疫力については、適度な運動を習慣 づけることは非常に効果的であるといわれており、公園整備は健康づくりの場としてその効果が期待で きるものと思われます。アスレチック広場ですが、整備計画図中心部に「ちびっこ運動広場」を予定し ており、子育て世代のご家族が遊べる空間としてアスレチックを盛り込むことを検討したいと考えてお ります。小さな通潤橋の水道を造ることは石橋伝統技術保存協会に相談しながら検討します。今後、九 州中央自動車道矢部IC(仮称)の開通も見据え、町内外の多くの方に施設の利用を楽しんでいただき、 地域の活性化に繋げていきたいと考えております。

# 2. 梅田町長さんが「日本のジョー・バイデン」であることを活用したPR活動について

問 先日、山都町長梅田穰さんが日本のジョー・バイデンとしてSNSやア 矢部中学校2年 メリカのニューヨークタイムズで話題になりました。これは山都町を全国や 世界に広める良い機会だと思い、二つのことを提案します。一つ目は、SN Sを利用したPRです。現在、日本ではたくさんの人々がSNSを利用して います。もっと話題になれば、たくさんの人に山都町のことを広められます。

二つ目は、道の駅など山都町の主な観光地に、「日本のジョー・バイデンが いる街」の看板とスタンプラリーの設置です。役場に交換所を設けてスタン プを集めた観光客に山都町の特産物を渡してはいかがでしょうか。「日本の ジョー・バイデン と山都町の良さの両方をPRできるのではないでしょうか。

角田 晋



# 答 山の都創造課長

SNS等を活用したPRについては、役場の関係部署でチームをつくり、民間の事業者も巻き込みな がら山都町の宣伝・販売促進に活用できるよう協議してきました。既に民間事業者で関連商品の作成・ 販売等が実施されております。町では大統領就任式へのお祝いメッセージ送付や町長のメッセージと町 のPR動画をYouTubeにアップする準備を進めているほか、山都町のロゴマークの入ったマスク 等を制作し、配布しています。看板設置とスタンプラリーの実施については、町長の等身大パネルを制 作予定で、道の駅等に設置したいと考えています。スタンプラリーについても、昨年の夏と秋に「山 都町を満喫」するキャンペーンを行い、スマホを活用したデジタルスタンプラリーを実施し、町内で使 える商品券等を抽選で配布しました。今後も引き続き実施したいと考えています。この機会に「山の都・ 山都町」を売り込み、認知度を高め農産物や加工品などの販売促進にもつなげていきたいと考えてい ます。

# 7. 運動公園の設置について

荒木 麻帆 議員

# 清和中学校1年



問 自然を利用した公共運動施設の設置について提案します。本町にはたく さんの自然がありますが、体を動かせる施設があまりありません。子どもか らお年寄りまで、自由に体を動かしたり、遊んだりできる施設を建設するに は多くの費用が必要になりますので、廃校になった校舎や体育館施設等の維 持費を新たな運動施設の費用に回すといいと思います。利用頻度や維持費は どのようになっているでしょうか。矢部地区では新たに町営体育館の建設が 始まるそうですが、清和地区や蘇陽地区にも同様の施設があれば、地域の活 動拠点や災害時の避難場所にもできると思います。また、小さな子供が遊べ るように公園を設置してはどうでしょうか。夏は水遊びを、冬場は雪遊びを するなど、この町だからこそできる自然の楽しみ方ができると思います。

# 答 生涯学習課長

現在、令和元年度に策定した「山都町グランドデザイン」を基に町営中央グラウンド周辺での公園整 備を進めており、本町の豊富な観光資源を生かしながら、町民の生涯スポーツや健康増進につながる施 設づくりを目指しているところです。廃校となった学校について、令和元年度に町が支払っている維持 経費の合計額は694万円ほどとなっております。平成17年2月の3町村合併以来、山都町は一つの 町として総合的に事業を進めているところであり、今回の矢部地区での公園整備は、山都町全体の拠点 施設整備の一環で事業を行っておりますので、各地区に総合運動施設を設置することは、現時点では難 しいものと思われます。計画中の運動公園は、中央体育館の老朽化に伴う移転建て替えを柱としまして、 グラウンドゴルフや野外活動が楽しめる芝牛広場等を整備するなど、山都町内外の皆様にとって魅力あ ふれる施設づくりを目指しております。

# 8.一昨年、提案した「空き家の有効活用」について付け加えた提案

### 蘇陽中学校2年

佐藤 果林 議員



問 空き家の活用法について提案します。現在ある「空き家バンク制度」は、 定住できるシステムです。これに加えて、民間企業や営業を目的とした人 達にも貸し出し可能にして、観光業や施設を作るのはどうでしょうか。観光 業の例では、民泊があります。比較的宿泊費が安いため、気軽に利用できる と思います。観光施設の例として、山都町のおいしい野菜を使った料理や郷 土料理等を提供する料亭や特産物を使用するスイーツを提供するショップを オープンすることもできます。地域の人や観光客にも人気が出ると思います。 さらにそこで使用した山都町産の野菜販売コーナーを設けるとより多くの利 益が得られると思います。これらは新たな働き口となり定住者も増えること が考えられます。

# 答 山の都創造課長

一昨年にご提案のありました内容は「空き家を宿泊施設として活用し山都町の自然を満喫してもらう」 ということと「町営住宅として活用することで町の人口増につなげる」というご提案でした。現在、町 では空き家対策のほかに町内で事業を営まれている方や新たに事業を起業される方を対象に「賑わい再 生事業」「起業支援事業」に取り組み補助金を支出しています。町内の空き家、空き店舗を事務所とし て改修した事例やカフェとして起業された事例はありますが、宿泊施設や販売施設としての活用はあり ません。まず、民間事業者や地域住民の方に運営していただくことを基本にしますが、ご提案のありま した観光宿泊施設や交流人口拡大としての空き家の利活用については、町として今後取り組むべき課題 と捉えております。現在は移住定住を促進するための「空き家バンク制度」ですが、観光振興を目指し た活用と商店街の賑わい再生にもつながることですので、空き家活用と支援策等の充実に取り組みたい と考えます。

## 5. 空き家の利用について

問 空き家を有効的に活用した移住者を増やす取り組みについて2つの提案 清和中学校2年 があります。1つ目は、子どもがいる世帯に空き家を借りる家賃や手続き等 を町が補助するというものです。子どもの時に山都町で過ごせば、大人になっ た後も山都町の良さを広めてくれ、発展にもつながっていくと思います。2 つ目は、グランピングを使ったお試し移住です。グランピングは、テントを 使って観光客などに宿泊してもらうことで、町に宿泊してもらい、魅力を知っ てもらうことで移住につなげることができると思います。利用されていない 場所を若い世帯に貸し出したり、グランピングを考えている人に対して、場 所やテントを貸し出したりすることで、山都町の自然や食べ物のおいしさな どの良さが伝わり、移住者の増加につながるのではないでしょうか。

梶原 真之 議員



# 答 山の都創造課長

町では平成29年に「空き家バンク制度」を創設し、「空き家を貸したい人」と「空き家を借りたい人」のマッ チングを行っており、これまで130件以上の空き家登録があり、71件の賃貸・売買等が行われています。

「子どもがいる世帯に家賃等を町が補助する」というご提案につきましては、子育て世帯支援の充実 になるものと考えます。空き家の利活用を促進する意味でも家賃補助等について今後取り組みを進めて 参ります。「グランピングを使ったお試し移住」については、新たなキャンプスタイルとしてグランピ ングの人気が高まっており、移住のお試し住宅として場所の提供や施設の貸し出しで若い世代に移住の きっかけをつくることが可能になるかもしれません。現在、山都町での生活を1年間お試しで体験でき る「短期滞在施設」がありますので、そちらの施設や町内のキャンプ場を利用するなどして多くの移住 者を呼び込めるよう取り組んで参ります。

# 6. 学習塾の開設について

問 町が運営に携わる、学校の教室を利用した塾の開設を提案します。部活 清和中学校2年 が終わった時間などに講師の先生を学校に招いて行う方法と、リモートで講 師の先生から指導を受ける方法を考えています。どちらも町内にいて熊本市 と同様の塾の授業を受けることができるので、生徒や保護者は移動の距離や 時間が短くなり、その時間を勉強に充てることができ、学力の向上が見込め ます。子どもの学力や進学のことを考えて、町を出ていく人も減ると思います。 また、学校生活で接する人以外との接触が増えることもなく、新型コロナウ イルス感染のリスクも心配ありません。本町でも1人1台のタブレット端末 の配付が準備されています。このタブレットを有効活用することにもつなが ると思います。



# 答 学校教育課長

基礎学力の定着向上は、各自の夢の実現に必要なことであり、そのことを念頭に教育委員会や学校で 取り組んでいるところです。学力向上のためには、学校での授業を基本に家庭とも連携しながら学習を 進めていくことはもちろんですが、放課後の学校施設を利用した町設立の学習塾を含め、生徒の皆さん の学ぶ意欲に応えるにはどのような方法があるか、考えていきたいと思います。なお、夏休みに生涯学 習課が担当する地域未来塾を平成30年度から開催しており、令和2年度は中学3年生を対象に4日間 実施し、参加率は約6割でした。地域未来塾は、指導に当たっていただく講師をはじめ、さまざまな御 協力のもとで実施できています。年間を通して放課後の学校施設を借りて学習塾を開催する場合、ニー ズの把握、受講料等、新たにクリアしなければいけない課題があります。学校や地域、民間の御協力も 必要だと考えます。このようなことを踏まえて、放課後の学習塾を開催できるかどうかを判断していき たいと思います。

# 11. 山都町の予算について、教育費の割合を高めることは可能かどうか。

### 蘇陽中学校2年



問 令和元年度の山都町一般会計歳出総額で教育の割合が5.5%とありま 春木 智裕 議員 した。今年度の予算では7.5%に上がっていました。しかし、学習環境はま だ整っていないように感じています。学校の老朽化への対応や、ICT事 業について費用が必要と感じています。また、タブレットについては一人 一台配置があるとのことですが、家への持ち帰りは可能か、町内のネット 環境は整っているのかを教えていただきたいです。今年度は臨時休校が長 くなりICTの活用によるオンライン授業の必要性を感じ、環境が整えば、 急な状況変化に向けて早めの対応ができるのではないかと考えます。第二 次山都町総合計画後期基本計画の実現のために、教育費を高めるとことが 可能か、教育の充実・ICTについて教えていただきたいです。

# 答 学校教育課長

山都町の小中学校の校舎・体育館の老朽化への対応として、近年では、雨漏りの修繕や設備の取り替 えなど、緊急性・必要性の高いものを優先して行っています。タブレットについては、家庭へ持ち帰っ ての活用を前提に、児童生徒一人一台分を、令和2年度中に配置できるよう準備を進めています。光回 線未整備の児童生徒の世帯に対しては、モバイルルーターの貸し出しを予定しており、臨時休校時のオ ンライン授業が可能な環境整備を行います。令和2年度のICT教育事業は、ギガスクール構想やコロ ナ対策などにより集中的に整備を進めております。なお、令和2年度当初予算の中学校費について、山 都町は生徒一人当たり約29万円で、上益城郡内で一番高い額です。一方で、学校を維持管理するため の固定経費は、学校施設の数だけ毎年一定程度必要で、整備の優先順位もあり、全てにわたって行き届 いた整備を行うことは、難しいのが実情です。全体予算に占める教育費の割合は、その年度の重点施策 等様々な要因で毎年変動しますが、必要な教育予算を確保し、学習環境の充実に努めていきたいと考え ます。



# 9. 昨年度、質問・提案した『そよ風パーク』について

問 そよ風パークの再開やこれからの活用について詳しく教えていただき、 蘇陽中学校2年 企画を再提案したいと思います。一点目は再開の時期です。物産館は営業 再開したものの、他施設の営業や町民が使えるのはいつからでしょうか。 二点目に遊具を修繕し、グラウンドの有効活用ができるかを教えてほしい と思います。これまではそよ風パークを利用したイベントが少ない状況に ありました。再開した際は、昨年度も提案しましたが、「そよ風パーク周辺 をコースにしたファミリー向けのジョギング大会 | 等のイベントを開催し てはいかがでしょうか。夏の涼しい環境を利用し、ブルーベリー等地元の 食材や特産品を食べながら気軽に参加できるイベント等を企画すれば、観 光産業の活性化にもつながり、町外からの新たな集客の機会になるのでは ないかと考えます。

# 春木 達裕 議員



# 答 山の都創造課長

昨年の10月に新たな指定管理者が選定され、物産館については、10月31日に営業を再開しました。 レストランは緊急事態宣言解除後、ホテル・コテージは4月を目途に再開できるよう準備が進められて おります。遊具の修繕につきましては、昨年ご指摘があった後、危険な遊具は撤去しました。今後再整 備を行う予定です。グラウンドの有効活用についてはホテル、レストランの営業再開とセットで考える 必要があり、これまでのようにサッカー等の試合や合宿としての利用、イベントの開催などでの利用を 想定されています。ご提案がありましたジョギング大会等のイベントについても指定管理者と協議をさ せていただきますが、そよ風パークの全面的な営業再開と新型コロナ感染拡大の状況を踏まえて進めて 参ります。

# 10. 介護・福祉事業と民間が協力した生活支援について

問 私が提案するのは、「介護・福祉事業と民間が協力した生活支援について」 蘇陽中学校2年 です。現在、山都町は高齢化が進んでおり、みんなが安心・安全に暮らすこ とができる地域社会の実現が必要です。そこで役場等の公的な機関と民間企 業が協力をすれば、更に充実した生活支援ができるのではないかと考えまし た。職場体験学習で訪問したスーパーでは宅配の形態で販売しており、実際 に目の不自由な人のニーズに応えていることを知りました。このような経験 から、各民間企業が移動店舗やウーバーイーツのようなシステムを充実させ、 公的なサポートがあれば生活支援にも役立つと思います。例えば移動スーパー の情報提供を役場が行ったり、公用車を活用して移動範囲を広くしたりすれ ば、たくさんの人が利用でき、コロナ禍の生活支援にも有効だと考えます。



# 答 福祉課長

山都町の65歳以上の高齢者は約7.000人、全体の約5割で、1人暮らしや高齢者だけの世帯が増加 しており、買い物支援、生活支援は大変重要な問題です。ご提案の移動スーパーのようなシステムづく りは必要だと思っております。本町の面積は県下で3番目に広く、集落が点在しており、経営面のこと もありますので、現在、住民のニーズや運営方法など様々な課題について関係機関等との情報交換を行っ ているところです。そのような中で、町では、食事作りができない高齢の方に食の字配サービスとして、 お弁当の配達と安否確認を同時に行う事業を委託して実施しています。配達や実験的に宅配サービスを 実施しておられる民間企業もあり、今後、対象地域を拡大されることを期待しています。買い物代行サー ビスの運送許可を最近取得し、住民とスーパーをつなぐ事業を始めたいと相談される企業もあります。 住民のだれもが安心して暮らせる山都町となるように、町と社会福祉協議会や民間企業も一緒になって 考え、協力しながら取り組んで参ります。

# 子ども議会を終えて

閉会後、大林議長が「本日は、このような会を開いていただきありがとうございました。これからも、山都町の未来についてみんなで考えていきたいと思います」と感謝の気持ちを伝えました。また、子ども議会を終えて、「議長として参加させていただいて、どの提案も山都町のこれからについて真剣に考えていて創造力を感じました。今後もどうすれば山都町の未来がより明るいものになるかを考えていきたいと思います」と感想をいただきました。



### ~子ども議員の感想~

- ・とても緊張したけど、町のために考えた意見を直接発表・提案することができて良かったです。
- ・このような機会で発表させてもらって、とてもうれしかったです
- ・たくさんの人が私たちのために考え、取り組んでもらっていることが分かりました。
- ・この経験を今後の学校生活に活かしていきたいです。
- ・提案したものをぜひ実施していただき、これからの山都町の役に立てばいいなと思いました。
- ・今回の経験を通して、山都町がよりよくなってほしいと感じた。
- ・山都町のことにもっと関心をもっていきたいです。

# 【梅田町長 総括】



積極的な、また建設的な提案・意見等がありましたことに、大変感動を 覚えながらお聞きしました。少子高齢化の進む中、また、高速道路の矢部 I Cまでの開通を数年後に見据えた中での町づくり等色々な提案をいただ きました。皆さんの提案も交えた中で実現できるよう頑張っていきたいと 思います。コロナ禍の中で学校の環境も大変な時かと思いますが、これも 一つの我々に与えられた試練だという思いの中で、勉強にまた色々な活動 に頑張ってください。

## 【山都町議会工藤議長 講評】

大変お疲れ様でした。人前で自分の思ったこと、意見を堂々と言えるということは非常に素晴らしいことだと思いました。本日の子ども議会の経験を通して、将来の山都町を担っていただく職員や議員になってくださることを期待しています。そのためには「やる気」と様々な経験の積み重ね、たくさんの仲間・友達をつくることが大事です。皆さんにはたくさんの可能性があります。希望溢れる未来に向かって、これから一生懸命勉強に運動に、それから仲間づくりに頑張っていただきたいと思います。



### 井手教育長からのメッセージ



住宅、教育、生活支援、魅力ある公共施設、町の将来設計など、各中学校を代表する議員の皆さんは、山都町民が心豊かに住み続けることができる町づくりについて、多面的に現状を見つめて課題を見出し、提言と質問にあたっていただきました。堂々とした態度とともに、山都町全体を見る視野と未来志向の姿勢にたのもしさを感じました。参画や協働が地域づくりのキーワードとされる現代、自分事として当事者意識をもって考え、行動することは素晴らしいことです。きっと目の前の学習にも目標を定めて取り組んでいることでしょう。山都町の未来を託すにふさわしい皆さんのこれからの活躍と成長を楽しみにしています。